

講義

- 担当教官：辻井 正人（つじい まさと）
- 担当教官の連絡先：（研究室）伊都キャンパス数理学研究教育棟 417 号室
（電話）802-4464 （電子メール）tsujii@math.kyushu-u.ac.jp
（電話とメールは急ぎの場合のみ使用すること。）
- 教科書：「複素関数論」クライツィグ 著（培風館）
- 参考書：「複素解析と流体力学」今井功 著（日本評論社）
- 用意するもの：教科書，ノート，プリントを綴じるもの，計算用紙と筆記具．
- 講義内容：数学 1 B で学んだ複素関数論の基礎に，より専門的・発展的な内容（調和関数や等角写像の理論）について講義する．教科書では講義内容がいくつかの部分に分けて収録されているため，講義との関係が多少複雑になるので注意．
- 講義についての情報を集めたウェブページを

<http://user.math.kyushu-u.ac.jp/index.php?tsujii>

から「講義について」⇒「2012年度」⇒「数学 2B」とたどった所におく．講義の進行や宿題、講義中に配布したプリントについて順次情報を入れるので、講義を休んだときなどに参考にすること．（講義プリントや小テストの問題と解答を掲載します．）昨年度も同じ講義を受け持ち、同様のウェブページがあるので、必要なら参考にすること．

- 2 回目以降の講義では（ほとんどの場合）最初に 15 分ほどで小テストをする．小テストは原則として採点して次回に返却する．答案の回収と返却を円滑に行うために次のようにする．
 - 座席を固定する．2 回目以降の講義は必ず同じ席に座ること．
 - 小テストの最中に封筒を列ごとに左の席からまわすので採点された自分の答案を受け取る．
 - 一番右側の座席の人は答案を取り出した封筒を持っておく．
 - 小テストが終わったら一番右側の人から順に答案をその封筒に入れてまわし，一番左の席の人が私に答案の入った封筒を渡す．

小テストは成績に関係あるテストなので教科書とノートはテスト時間中はしまう（当然であるがそれ以外の飲食物等は講義中はしまう．）小テストの結果はファイルに綴じて保存すること．小テストの問題は多少変更して期末テストにも出すので小テストで間違えたところはチェックしておくこと．略解を上記ウェブページにおく．

- 評価は「小テスト 50% + 期末テスト 50%」（割合について多少の変更はあり得る）100 点満点に換算して 60 点で合格．難しい問題は出さないが，その分基準は厳格に適用する．講義をよく聞いて教科書やプリントの練習問題をやり，小テストで理解をチェックし，小テストで間違えれば修正する．そうすれば単位の取得は容易と思われる（もちろん各自の実力や数学 1 B 等の講義の学習成果に依存する．）

- 追試は（私から見てやむを得ない事情がある時以外）行わない。また，期末テストが終わった後での成績についての陳情等は一切受け付けない（成績の確認等はもちろん o.k.）4年次以降の学生は特に注意。
- 授業の欠席・遅刻については2回以下は成績に影響しないようにする。小テストの点数は悪い方（または欠席）の2回を除いて計算する。クラブの試合等で欠席する場合もいちいち報告する必要はない。（逆にいえば特に単なる欠席とは区別しない。）事情があつて3回以上欠席する場合は連絡すること。